

泉州地域広域観光連携協議会



泉州地域広域観光連携協議会 総会を開催

ワーキングチームによる調査、視察についての報告などを行いました。

平成30年12月17日、レストラン日本において、泉州地域広域観光連携協議会の総会を開催しました。

総会では、平成29年度事業報告並びに収支決算（案）、平成30年度事業計画並びに収支予算（案）が承認され、泉州地域の着地型観光の方向性と実現方策の検討に取り組んでいくこととなりました。

次に、ワーキングチーム（7名で構成）より「まず泉州地域の調査として、現在設定されているサイクリングコースの実走とコース周辺施設へのヒアリングを行った結果、泉州地域を来訪する観光客が少ないことや、外国人の泉州地域に対する認知度が低いという実態等を把握できた。そして、泉州地域の調査後に、サイクリング事業の先進地である愛媛県松山市内で取り組まれている『松山サイクリングプラス』と、広島県尾道市と愛媛県今治市とを結ぶ『しまなみ海道（西瀬戸自動車

道）』の視察調査を行った。両先進地がサイクリングコースとして人気がある共通点としては、①トイレの貸出、お

茶・水の無料提供、自転車の修理用工具の提供を行っている施設が多い、②サイクリングコースのバラエティが豊富、③レンタサイクル施設間での自転車の乗り捨てが可能、④インバウンドへの対策を取っていること等であった。」との報告がありました。

また、これらの調査を踏まえ、先進地に倣うほか、①サイクリングコースへのスタンプリーの設置並びに完走者への泉州のお土産品プレゼント、②観光客の宿泊先となるホテルを拠点とした地元ならではのサイクリングコースマップの作成などが提案されました。

本協議会では、今回のワーキングチームによる報告及び提案を生かし、引き続き泉州地域の着地型観光に繋がる商品の企画・開発に努めてまいります。



▲『しまなみ海道』の視察



▲『松山サイクリングプラス』の視察